

石川県議会議員選挙公報

①

〔金沢市選挙区〕

石川県選挙管理委員会

未来創造

未来創造の旗を掲げて24年、新幹線開業により金沢・石川は目覚ましく発展してきました。これからも、住み慣れた街で買い物や医療を身近に。さらに安心して暮らせる未来を創り続けます。

重要政策 幸せの実感できるいしかわ創造

防災・減災対策 地域経済の再生

- 豪雨対策「流域治水」
- 防災情報の充実
- 大雪・雪害への対策
- 災害に強い交通体系の確保 など
- ウイズコロナ・ポストコロナへの対応
- 物価高騰対策
- 営農を継続できる環境づくり など

魅力が輝く

- 北陸新幹線の県内全線開業効果の最大化
- 文化観光の推進
- 観光広域連携 など

心豊かに

- 広域道路ネットワークの整備
- 伝統芸能・伝統工芸の継承支援
- 周産期医療体制の確保 など



米沢けんじ

米沢けんじプロフィール 石川県議会議員 6期・24年
北里大学を卒業後、石川県職員を経て1999年より石川県議会議員
● 自由民主党金沢支部長 ● 第99代石川県議会議長
● 県監査委員 ● その他、県議会各委員会の委員長などを歴任

子どもに未来を!

子どもの未来のために。やさしく、鋭く、県政に物言う議員でいたい。



- 福祉 ▶ 子ども・若者から高齢者まで大切にされる
- 平和 ▶ 武力より外交と友好交流
- 環境 ▶ 自然に配慮した開発
- 教育 ▶ どの子ども希望を持って楽しく学ぶ
- 人権 ▶ 一人ひとりが大切にされ、差別されない
- エネルギー ▶ 脱原発、地域を豊かにする再生可能エネルギー
- 地域 ▶ 地方で心豊かに生きる
- 労働 ▶ 生きがいをもって、人間らしく働く
- 文化 ▶ 伝統と創造、県民が参加し発展させる文化

まじめに、ぶれずに20年。

県議会議員として20年、めざす理念に全力で取り組んできました。これからも石川の未来を見つめ続けます。

■ 経歴
1955年 能登・志賀町生まれ・七尾高校卒業
1977年 金沢大学教育学部中等科理科専攻卒業
～2002年 金沢市内の中学校に勤務
2003年 石川県議会議員選挙で初当選 現在5期
■ 趣味・特技
天文／理科研究サークルで現場教員と交流、レポート発表を行う／琴古流尺八「星雲会」を主宰

盛本よしひさの活動をチェック!



盛本よしひさ

石川県の未来にいま、打ち出す。

子どもたちに笑顔を! 地域に元気を!

- 子育て支援の充実とワークライフバランスの実現
- 教育・保育環境の整備と子どもの貧困対策
- 交流人口の拡大と地域の魅力づくり
- 雇用環境の改善と中小企業の振興

くらしに安心を!

- 医療・介護・福祉サービスの充実と公共サービスの確実な提供
- 防災力の向上と地域コミュニティの活性化



初当選以来、皆さまからの声をお伺いし、身近なお困りごとを解決してきました。石川県庁職員としての経験を活かし、全力で活動してまいります。

Profile

経歴 / 金沢市生まれ。金沢大学法学部を卒業し、石川県庁に入庁。石川県庁を退職し、平成31年4月、初当選。

主な役職 / 金沢市第一消防団石引分団班長、石川県少年サッカー連盟参与、御山まつり保存会顧問・世話人

解決事例



公式サイト



うちで打ち出す

41歳

未来を拓く 自由民主党公認

私の視点

教育創生への「視点」

デジタル教材を活用した
子どもの個性に寄りそう学びの実現
学習支援ボランティア育成事業
対話力をはぐくみ、学びの「意欲」と「基礎力」アップ
子どもたちの「未来ビジョン」を醸成
地域産業・地域人財との連携

女性参画への「視点」

「どうせ〇〇だから」と諦めさせない、諦めない!
「おひとりさま」でも怖くない
コミュニティ支援活動を推進

安心生活への「視点」

ムリなく、楽しく、私らしくほがらか長生き健康寿命を延ばす音楽療法の推進

昭和38年1月6日金沢市生まれ 石川県立金沢二水高等学校 卒
同志社女子大学 学芸学部 音楽学科 卒
石川テレビ放送(株)元アナウンサー
太郎田真理トーク&ミュージックスタジオ 主宰
唱歌・童謡研究家 音楽療法士
北國新聞文化センター 講師 金沢あかとんぼ会 講師
2018年3月石川県議会議員補欠選挙初当選
2019年4月石川県議会議員選挙で再選
商工観光公安委員会委員長など

美しい「日本語」をもういちど



太郎田まり

石川県議会議員選挙公報

〔金沢市選挙区〕
石川県選挙管理委員会

理想を 現実に。

ながた哲也が
新しい
石川・金沢の
未来に向けて
動き出します。



ながた哲也

プロフィール

- 1959年9月26日金沢市生まれ、現在63歳。
- 野々市小学校～金沢市立額小学校、金沢市立額中学校、石川県立金沢二水高校、立教大学卒業。
- 1984年北陸放送(株)入社。報道制作局アナウンス部。
- 2003年3月までTVニュースワイド「レポート6」キャスター。アナウンス部長など、ラジオパーソナリティとして活動。
- 2019年4月7日石川県議会議員選挙14,646票トップ当選。
- 2019年8月自由民主党に入党。現在、金沢市畝田東在住。

公式ホームページ→ www.nagata-tetsuya.com

金沢生まれ、 金沢育ち、 県政のために



たなか美絵

1 安心安全なまちづくり

防災士としての経験と市政での知見を活かし防災減災に取り組めます。多発する特殊詐欺防止にも取り組めます。

2 女性目線の福祉の充実

安心して子育てや介護が出来るよう女性目線の福祉の充実に取り組めます。

3 雇用・産業政策の充実

ワークライフバランスの推進、安心して働ける雇用政策に取り組めます。学生が地元で就職出来る環境づくりに取り組めます。

4 動物愛護

殺処分ゼロを目指し動物愛護に取り組めます。ペット同伴避難が実現出来るよう動物アレルギーの方にも配慮された避難所の環境整備に取り組めます。

プロフィール

- 1975年12月16日生まれ
- 泉が丘保育園、三馬小学校、泉中学校、北陸学院高等学校、帝京女子短期大学、明治大学政経学部、明治大学大学院(政治学修士)
- 国会議員秘書、衆議院議員(1期)、金沢市議会議員(1期)、防災士

たなか美絵子
公式ホームページ



みなさまの声を聞けます

石川・金沢の未来に大きな夢を ～令和から次世代への未来構想～

持続可能な循環と再生の 施策の実現をお約束します。

幸福度日本一を目指す石川の未来の創造のための斬新な戦略が必要です。

「観光立国 石川」「文化芸術立国 石川」を旗印に、これまで磨いてきた個性・魅力・基盤を継承し、デジタル化や脱炭素化といった新しい時代の潮流に的確に対応することがこれからの重要課題です。

◎成長が期待できる産業づくり◎収益力の高い農林水産業と次世代に繋ぐ農山漁村づくり◎個性と魅力に溢れる地域づくりと人づくり◎温もりある社会づくり◎安全安心かつ持続可能な地域づくりのための成長戦略を提案・実現していきます。

「見る力」「聞く力」「話す力」+「見抜く力」

県・市民の皆様のどんな小さな声も見逃さず、必ず県政にお届けし、実行力を発揮いたします。みなさまの声に謙虚に耳を傾け、それをしっかり県政に代弁できる力を持つ議員を選出するのは、まさに皆様の「見抜く力」にゆだねられているのではないのでしょうか。



中村いさお

自由民主党公認

“あなたと暮らしの伴走者”として、 県政へ新たな風を吹き込みます！

私は幼少期に、兄を交通事故で亡くしました。また、自然災害が発生した際には被災地に足を運び、防災士として被災者の声を直接伺ってきました。これらの経験をいかし、県民の皆さまが安心して暮らせる地域づくりに全力で取り組んでまいります!!

誰もが輝く石川づくり！

- ◆防災・減災対策の更なる強化と高齢者や子どもを事故や犯罪から守る安全対策の強化を目指します！
- ◆金沢港のクルーズ・貨物両面での機能強化と観光地にふさわしい周辺のまちづくりを目指します！
- ◆うつ病対策として認知行動療法の周知拡大と医療体制の充実を目指します！
- ◆「不登校特例校」の設置を目指します！

公明党が実現！

- ◆電気・ガス料金等の負担軽減を実現！
標準的な家庭で総額4万5000円程度、電気・ガス料金の負担軽減を実現しました。(1月使用分より)
- ◆10万円の「出産・子育て応援給付金」を給付！
金沢市では、昨年4月以降に妊娠届を提出した方、出生したお子さんの養育者に、妊娠時5万円、出生時5万円の給付を実現しました(経過措置含む)。

【略歴】昭和39年、小松市生まれ。58歳。
小松高校、創価大学教育学部を卒業後、小学校で講師として勤務。その後、広告代理店(営業)・コマツフォト(自営)を経て、平成12年から公明党石川県本部に勤務。
北陸信越方面事務局長、石川県本部事務局長を歴任。
現在、公明党石川県本部副幹事長。金沢市黒田在住。
資格/小学校教諭一種免許、防災士

公式ホームページ▶



LINE▶



あなたの一票を「こまつ実」に

公明党公認

こまつ実

み
の
る

石川県議会議員選挙公報

〔金沢市選挙区〕

石川県選挙管理委員会

身を切ることにより、まず政治家が覚悟を示す。
これが、日本維新の会のスピリッツです。

7つの本気

これから行動派！ もりかわ

1. 子育て支援の充実、保育・教育の改革
2. 広域連携の視点
3. 人にやさしいデジタル社会
4. 身を切る改革を実行
5. 未来の産業創造
6. 食を守り伝える
7. 健康・福祉の充実



改革に本気！ 石川県民のために！

プロフィール 昭和48年(1973年)2月20日生まれ、家族：妻・長男・次男、
趣味：祭り卓球・ガーデニング、特技：料理(オムライス)、金沢工業高等専門学校三年修了、冠婚葬祭商社(株)Amerrymood役員、津幡町議会議員(現在2期目)、元石川県青年協議会会長、元石川県PTA連合会副会長、元石川県社会教育委員、元石川県男女共同参画推進員、元社会福祉法人やまびこ学園支援員

morikawa-akira.com



公式LINE ホームページ



森川あきら

日本維新の会 公認

石坂修一の考える
大局観

県政へ、 大局観をもって、 先読みする。

- 人口減少時代に立ち向かう
- 交流と賑わいの創出
- 安全・安心の社会づくり
- カーボンニュートラル社会に向けて
- デジタル社会への対応

<http://ishisaka-desu.net>

絶大なるご支援を
お願いいたします。

石川の
未来に、
次の一手



石坂修一

あなたの声をかたちに

皆様の声を県政に届けます！
県民の皆様が主役です！

子ども政策に注力します

- 保育環境の向上、病児保育、放課後児童クラブの充実を図ります。
- 隠れ待機児童問題に取り組みます。
- 児童虐待ゼロ、いじめゼロを目指します。
- 特別支援教育の充実に努めます。

SDGs推進します

- 環境保全型農業を推進します。
- 県産材の利用を促進します。
- 女性や若者が活躍できる社会を実現します。
- スポーツ環境向上に努めます。

暮らしと安全を守ります

- 女性の健康の包括的支援に取り組みます。
- 犯罪等被害者支援を推進します。
- 障害者の就労支援を応援します。
- 公共交通の充実を推進します。

石川の元気を守ります

- 中心市街地の活性化で金沢を元気にします。
- 国際交流観光都市を目指した環境整備を進めます。
- 新幹線・空港・港を生かした観光施策に注力します。
- 金沢の文化・芸術を育み、伝統・まちなみを守ります。



やすい知世ホームページ

プロフィール

昭和43年4月23日、金沢市生まれ。金沢大学附属中学校、星稜高等学校、金沢女子大学(現金沢学院大学)卒業。
日本航空株式会社国際線客室乗務員として約11年間、勤務する。
平成15年に金沢市議会議員選挙初当選、2期務める。平成23年に石川県議会議員選挙初当選。平成27年に再選、平成31年に三選。副議長、環境農林建設委員会委員長、厚生文教委員会委員長などを歴任。現在自民党石川県連幹事長代理。金沢市在住。



やすい知世

自民党公認

いっしょに次代へ。 とことんマジメに。

石川のために、県民の暮らしのために、
次代のためにフワが掲げる
4つのアップデート！

UPDATE 1 いしかわに人としごとを増やす
地方創成で石川再生

UPDATE 2 いしかわに来た人をリピーターに
新たな価値を更に磨く

UPDATE 3 いしかわの次世代に繋がる安心な社会
こころといのちを守る

UPDATE 4 いしかわの身近な暮らしをより豊かに
足元を見つめた施策

プロフィール

1976年1月15日金沢に生まれる。南小立野小学校、城南中学校、金沢桜丘高校、金沢大学を卒業。
金沢大学大学院を修了し、北川ヒューテック株式会社にて約6年半サラリーマン生活を送る。
2007年4月、31歳で金沢市議会議員に初当選。
2011年4月、石川県議会議員に初当選。
その後2015年、2019年と3期連続で当選。
2022年2月、115人目の石川県議会副議長に就任。

次代への
想いとは？



自由民主党
公認

フワ大仁

石川県議会議員選挙公報

〔金沢市選挙区〕

石川県選挙管理委員会

プロフィール 42%生斗がめ座インスタ7月20日206
資格取歴者読加味-部-大々所病院新愛病
院北野地区医師会病院(津羅)国立医王病院
石川日赤血液センター 一訪内介護シムパー
松原病院 主な趣味 チェス将棋 ハーブ温
泉レコード海水浴平泳のサマング



田中たかひと

未来への責任

次世代に責任が持てる政治を!

～3つの提言～

1.情報公開の推進

予算編成過程を透明化し、無駄に税金が使われる事がないよう厳しくチェックします。

2.真の二元代表制の擁立

首長と議会が緊張感を持ち、県民の声が届く開かれた県政を目指します。

3.動物愛護の推進

動物の命と尊厳を守り、心豊かな共生社会を確立します。

行動三原則

- ・常に公平な視点で考える
- ・長いものには巻かれない
- ・人として正しいことを貫く

【プロフィール】

昭和46年10月27日金沢市生まれ。O型
地元企業役員を経て、弱い立場の人に光が
当たらない現状を変えるため政治の道を志す



川 裕一郎



URL <https://1link.jp/y16kawa>



川裕一郎

ゆういちろう

参政党

愛×AIのいしかわ

愛 人を思う心を象徴する「愛」という言葉は、わたしが最も大切にしている「地域に心と血の通う温かな政治」の原点です。そして、安心・安全な暮らし、活力あるまちづくりにとって、今やAI(人工知能)と最先端の情報通信技術の活用が不可欠となっています。

AI 「愛」と「AI」のかけ算から築く「世界に誇れるふるさと石川」。その実現には、多くの皆様の参加がとて重要で重要。わたしは「あなたの声をカタチに」をモットーに、皆様からいただいたご意見を着実に県政に反映させてまいります。



田中たかひと

スマートシティを進化させる

誰ひとり取り残さない

学びと稼ぐ力を磨く

未来を拓く人を育む

平和と文化を愛する



あなたの声をカタチに

詳しい政策はこちらから▶

田中たかひと(敬人)プロフィール

生年月日 1970年(昭和45年)5月10日

学歴 白山市立(旧河内村立)河内小中学校卒業
石川県立金沢錦丘高等学校卒業(平成元年3月)
名古屋商科大学産業経営科卒業(平成5年3月)

職歴 (株)北國新聞社
(株)エヌ・ティ・ティ北陸テレマック
白山建設(株)

団体歴 2010年度(公社)金沢青年会議所 理事長
2013~2015年度金沢市立錦小学校PTA 会長
2014年度金沢市PTA協議会 会長
2014年度石川県PTA連合会 副会長

現職 石川県議会議員
(株)サンアール 代表取締役
(株)ノエチカ 代表取締役

自民党

田中たかひと事務所
〒921-8145 石川県金沢市額谷1丁目40番地
TEL.(076)298-2100 FAX.(076)298-8904

www.t-takahito.com
@takahitosupporters

住民の声を届け、政治を動かす

「戦争か、平和か」。日本の進路の転換期です。平和とくらしをこわす岸田大軍拡「ノー」の声をあげ、切実な暮らしの願いに応えます。

子育て3つのゼロ

① 学校給食費ゼロ (あと50億円程度)

② 18歳まで医療費を完全無料に
県の対象年齢を拡充し、県の自己負担制度廃止。

③ 子どもの国保料「均等割」ゼロ

財源は…県予算の使い方。優先順位を切りかえ、自由に使える基金(貯金)の一部を使います。

高齢者の生活安心

- 加齢性難聴者への補聴器購入費助成
- 介護保険料・利用料負担を軽減

高物価からくらし応援

- 消費税5%緊急減税、インボイス中止
- 中小企業を直接支援。最低賃金1500円

原発帰還ストップ!原発ゼロへ



日本が攻撃されていなくても
アメリカの戦争に参戦

航空自衛隊小松基地、陸上自衛隊
金沢駐屯地の「強化」

平和・くらし壊す岸田大軍拡・増税「ノー」 憲法9条いかした平和の外交努力を

プロフィール:1967年新潟県水原町(現阿賀野市)生まれ。
金沢市額新保在住。金沢大学理学部物理学科卒。党副
委員長。趣味:音楽鑑賞(最近の推しは、あいみょん)・
落語鑑賞、民主主義文学会準会員



佐藤まさゆき

日本共産党

石川県議会議員選挙公報

〔金沢市選挙区〕

石川県選挙管理委員会

石川県議会 初の防災士！ ドクターヘリ導入の立役者

4期16年 主な実績

- ◆ 県立中央病院にドクターヘリを導入
「患者の約8割に救命や後遺症軽減の効果」と喜びの声。運行実績は年間約400件
- ◆ 県立中央病院に女性専用外来エリアを導入
4万人の署名運動を展開するなど、粘り強く推進し、全国初となる設置が実現
- ◆ 命を守る防災士の育成
2007年能登半島地震をきっかけに、防災士の必要性を訴え、石川県の登録率は全国4位に！
- ◆ 防災センターの誘致
- ◆ 豪雨・土砂災害対策
- ◆ ひきこもり支援
- ◆ プレミアム・パスポートの対象拡大



公明党が実現！

- ◆ 電気・ガス料金等の負担軽減を実現！
標準的な家庭で総額4万5000円程度、電気・ガス料金の負担軽減を実現しました（1月使用分より）

◆昭和32年 穴水町生まれ。穴水高校、名城大学農学部卒業
◆(株)ナガオカに勤務。新聞販売店を自営 ◆平成19年 石川県議会議員に初当選（現在4期目）◆現在、公明党石川県本部幹事長／石川県議会副議長、各委員長・副委員長等を歴任。金沢市荒屋在住。65歳



各SNSはこちらのホームページからアクセスできます



公明党公認

やちり律夫



下沢の 実現力

ご期待ください



下沢よしあき

国・県・市との
強固な連携を武器に
問題に対峙し突破します。

活力・交流

- ◆ 都ホテル・日銀・金沢港湾事務所・旧県立図書館跡地などの利活用促進
- ◆ 石川県成長戦略（仮称）の策定・実行

安全・安心・人づくり

- ◆ 河川改修や防災士の育成などハード・ソフトの防災・減災対策
- ◆ 安心して子どもを生み育てることができる環境の整備

スポーツ・イベント

- ◆ 西部緑地公園および関連施設の再整備促進
- ◆ アーバンスポーツへの支援充実や、ナショナルサイクルルートの早期指定

◀◀◀ ホームページはこちら

【プロフィール】＊昭和36年、金沢市金石生まれ。＊金石町小学校 → 金石中学校 → 金沢泉丘高校 → 早稲田大学商学部 ＊森喜朗代議士の門を叩き、12年間、公設第一秘書などを経験。＊平成7年、石川県議会議員に初当選。＊石川県議会議長、自民党石川県連幹事長などを歴任し、現在、金沢みなと懇話会会長、スポーツ振興石川県議会議員連盟会長、ほか多数。＊令和5年、8度目の挑戦へ。

県議会本会議場において、誰よりも多く質問を行い、皆さまの声を確実に県政に伝えてまいりました。

“経験^{プラス}刷新力”

充実!!

「福祉・障害者施策」
「スポーツ・教育・国際交流」
「安心・安全・医療」



自由民主党公認

学校給食の無償化実現を!

子供たちの健やかな成長において学校給食は必要です。小中学校は義務教育であり、食育の大切さを思うと学校給食の無償化は実現すべき大きな課題です。教師の負担も減り、子育て、少子化、貧困対策にも有効です。

町会コミュニティの復活を!

公営住宅では高齢化が進み、障がいがある方も多く入居しており、町会コミュニティが図れていないのが現状。所得制限なしで学生さんや新婚さんなど若い人達を受け入れて、盆踊りや運動会、除雪、草むしり、防災訓練などにも協力してもらいます。

プロフィール

昭和30年9月9日金沢市内で生まれる。現在67歳。地元の市立十一屋小学校、野田中学校、県立金沢泉丘高校から早稲田大学政経学部へ学ぶ。卒業後、代議士秘書となり、政治と地方議員の役割を学ぶ。「青年の政治参加」をスローガンに、昭和58年金沢市議会議員選挙に最年少記録27歳での初当選。平成3年には、石川県議会議員に初当選、以来連続8期。家族は妻と2人家族（長男、次男夫婦独立）平成20年、第89代石川県議会議長に就任。これまでに、県監査委員など、現在は日韓友好促進議員連盟会長、自民党では石川県連副会長。過去に、幹事長、政調会長、青年局長などを務める。

ひもの義昭の詳しい情報満載！
ぜひご覧下さい。

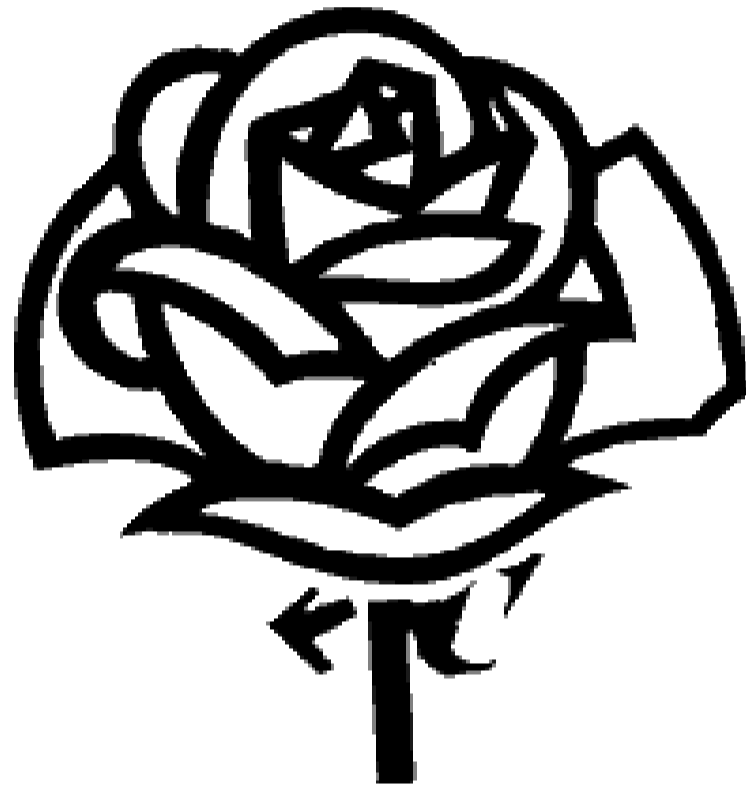
ひもの義昭

検索



ひもの義昭

よしあき



明るい選挙のシンボルは白バラです。
白バラの持つ清楚なイメージが、明るい選挙の
目標のひとつである清潔さを象徴しています。

石川県選挙管理委員会

投票は18歳から

願いこめ 希望をむねに その一票

4.9

石川県議会
議員選挙



明るい選挙イメージキャラクター
愛称:ひやくまんごっくん

石川県選挙管理委員会

投票は18歳から

石川県議会議員選挙

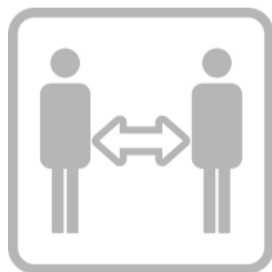
投票日 **4月9日** **日**

投票時間は夜8時まで

期日前投票期間 4月8日(土)まで

詳しくは、金沢市選挙管理委員会までお問い合わせください。

各投票所で実施する新型コロナウイルス感染防止対策



距離の確保



入場時の消毒



定期的換気



記載台の消毒

石川県選挙管理委員会